

# 北海道高等学校教育相談研究会第50回記念研究大会実施要項

- 1 研究主題 「変化の激しい多様性の時代をしなやかに生きる力を育む教育相談を目指して」
- 2 目的 北海道の高等学校における教育相談活動の発展に寄与する
- 3 主催 北海道高等学校教育相談研究会
- 4 後援 北海道教育委員会 札幌市教育委員会 北海道高等学校長協会 北海道高等学校PTA連合会
- 5 期日 **令和4年(2022年)1月14日(金)**
- 6 会場 (1)ホテルライフオーブ札幌 (住所:札幌市中央区南10条西1丁目 電話:011-521-5211)  
(2)オンライン(zoom)  
**※今年度は対面とオンラインによるハイブリッド形式で行います。**

## 7 日程

- (1) 令和4年1月13日(木) ※ 大会運営者のみ

運営役員研究協議会
16:30~17:45

- (2) 令和4年1月14日(金)

受付	開会式	記念講演	昼食・休憩	基調講演	シンポジウム	閉会式
9:15~9:45	9:45~9:55	10:00~11:40	11:45~13:00	13:00~13:50	14:10~15:40	15:45~15:55

## 8 内容

### (1) 記念講演

**演題 「臨床から診える高校生の”ころ”と”そだち”について」**

**講師 医療法人社団倭会 こころとそだちのクリニック むすびめ 院長 田中康雄氏**  
(経歴)



旭川医科大学精神科神経科, 研修医, 医員を経て道内の精神科病院で仕事をし、2002年より国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部児童期精神保健研究室長。2004年より北海道大学大学院教育学研究院 教授。2012年04月北海道大学名誉教授。2012年5月こころとそだちのクリニック むすびめ 院長。現在に至る。  
専門 児童思春期精神医学

#### 主な著書

「発達障害」だけで子どもを見ないで その子の「不可解」を理解する SB新書 2019年  
ADHDとともに生きる人たちへ 医療からみた『生きづらさ』と支援 金子書房 2019年  
支援から共生への道II 慶應義塾出版会 2016年  
生活障害として診る発達障害臨床 中山書店 2015年  
発達支援のむこうとこちら 日本評論社 2011年  
つなげよう 発達障害のある子どもたちと私たちができること 金剛出版 2010年  
支援から共生への道 慶應義塾出版会 2009年  
軽度発達障害 繋がりがあって生きる 金剛出版 2008年 など

子どもたちのこころとそだちは、それぞれのライフステージに、ある程度特有の課題や特徴があります。なかでも子ども時代に別れを告げ、大人の世界に足を踏み入れようとする高校時代は、家族関係や友達との関わり、そして自身の将来に対して夢と希望と不安を抱えているといえるでしょう。今回は診察室で出会う彼らのこころとそだちについて検討してみたいと思います。

### (2) 基調講演

**演題 「高校教師に求められる生徒指導・教育相談のころについて」**

**講師 東京大学 理事 今泉柔剛氏**



今もいわゆる『良い子』・『悪い子』はいない。いるのは、多様な個性を持った子ども達であり、あるのは、大人達の固定観念。今後は、その多様な個性を持った子ども達が、変化の激しい中で、日々、様々な外的な影響を受け、成長し続ける。社会の変化が激しくて、先が見通せない中、一番危ないものが「大人の常識」。その点について、SFプロトタイピングで10年後を想像し、そこからバックキャストで「今」を考えたい。

(3) シンポジウム テーマ 「これからの学校教育相談に期待すること～連携・協働の在り方～」

シンポジスト



**東京大学 理事 今泉 柔剛 氏**

1994年4月高等局大学課。1995年7月助成局施設助成課法規係長。1997年9月学際局国際企画課専門職員。1998年1月外務省在トルコ共和国大使館二等書記官。2001年1月初中局国際教育課課長補佐。2002年8月福岡県教委教育振興部高校教育課長。2004年8月初中局児童生徒課課長補佐。2006年6月同初等中等教育企画課課長補佐。2007年7月高等局国立大学法人支援課課長補佐。2008年8月同大学振興課大学改革推進室長。2010年3月OECD日本政府代表部一等書記官。2011年1月同参事官。2013年4月高等局高等教育企画課大学設置室長。2014年7月官房総務課大臣秘書官事務取扱。2015年10月スポーツ庁国際課長。2017年7月日本スポーツ振興センター理事(兼)新国立競技場設置本部長。2020年10月スポーツ庁政策課長。2021年7月東京大学理事



**知内町教育委員会 教育長 本間 茂裕 氏**

○町立知内高等学校 (校長)  
○市立釧路北陽高等学校 (校長) 道高等学校長協会調査研究部生徒指導委員会委員長  
○北海道恵庭北高等学校 (校長) 道高等学校教育相談研究会会長 道いじめ防止条例検討委員  
○知内高等学校 (常勤講師) 野球部監督 函館支部代表 (平成27年4月1日から1年間)  
知内町 青少年交流センター生活指導員 (学生寮舎監) 教育長 平成28年3月から 現在6年目  
社会科教諭、主に生徒指導・教育相談を担当。野球部監督を4校において20年間務める。  
自身が無名校から東京六大学に進んだ際、学生を平等にスタートラインに立たせ、野球を通じての人間教育を目指す明治大学野球部・島岡吉郎監督の人間力野球に啓蒙され、勤務校各校では基礎基本の徹底に主眼を置きながらも生徒の自主性・自律性を育むことに努める。



**北海道教育大学札幌校 准教授 益子 洋人 氏**

博士 (人間学)。栃木県スクールカウンセラー、明治大学文学部助教等を経て、現職。また、附属札幌中学校スクールカウンセラーを兼任。公認心理師、臨床心理士、学会認定ピアメディエーター、交渉アナリスト (補)。日本カウンセリング学会「学校カウンセラー松原記念賞」(2013年)、「奨励賞」(2018年)、日本学校メンタルヘルス学会「最優秀論文賞・中島一憲記念賞」(2017年)を受賞。  
生物 (特に馬) 好きの学校マニア。人生の目標は「爽やかなヲタクになること」、ライフワークは人々が「上手にケンカできるようになる」ことを応援すること。



**札幌市教育委員会 スクールソーシャルワーカー 高野 和美 氏**

岩見沢市出身。1995年より2009年まで勤医協札幌病院にて勤務し、精神科担当のソーシャルワーカーとして子どもの精神保健の問題や不登校状態にある子どもや保護者への支援にも取り組む。2010年より現在まで札幌市教育委員会にてスクールソーシャルワーカーとして活動している。日本学校ソーシャルワーク学会所属。社会福祉士・精神保健福祉士。

コーディネーター



**開善塾教育相談研究所 所長 藤崎 育子 氏**

大学卒業後、韓国に語学留学。帰国後、韓国観光公社東京支社等の勤務を経て、財団法人松下政経塾に14期生として入塾。在塾時より、開善塾教育相談研究所長、金澤純三氏 (現顧問) に不登校・ひきこもりの訪問相談の実際を学び、現在に至る。  
2009年4月～2013年3月 神奈川県藤沢市教育委員会委員  
2011年 文科省公立義務教育諸学校の学級規模及び教職員配置の適正化に関する検討会議委員  
2012年10月～2013年3月 文科省いじめ問題アドバイザー  
2013年12月～2017年12月 埼玉県教育委員会委員・教育委員長・教育長職務代理者  
2015年1月～2019年 文科省不登校に関する調査研究協力者会議委員  
2020年4月～茨城県家庭教育支援スーパーバイザー  
『『教育改革』は改革か』 土居健郎編 PHP研究所 2001年  
『親と教師が日本を変える』 共著 PHP研究所 2006年  
PHP月刊のびのび子育て 産経新聞解答乱麻コラム 読売新聞教育相談メール回答者等  
独立行政法人教職員支援機構 オンライン講座講師  
「不登校児童生徒の理解と保護者への支援」 <https://www.nits.go.jp/>

## 9 申込と参加料の納付

- (1) 参加料 **3,000 円**
- (2) 参加人数 **ホテルライフオート会場での参加人数を先着200名**とさせていただきます。  
ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- (3) 申込方法 高相研のホームページ <http://www.kousouken.hokkaido-c.ed.jp/>  
のトップページから個人で申込をしてください。(対面またはオンライン)  
日本旅行のホームページにリンクしています。
- (4) 申込期間 **11月22日(月)から 12月17日(金)まで**
- (5) 納付方法 指定のコンビニエンスストアで、**振込期限を確認**の上、納付してください。
- (6) その他 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お弁当の斡旋は行わないことといたしますので、  
昼食は各自でご用意願います。なお会場で食事をとられる場合には黙食の徹底をお願いします。



## 10 ホテルライフオート札幌へのアクセス

- 札幌市営地下鉄南北線  
「中島公園」下車 1番または3番出口より徒歩約3分
- 駐車場(有料)はありますが数が限られますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 11 その他

- ホテルライフオート札幌での受付は、2階ライフオートホール前「ホワイエ」で行います。正面玄関ロビーの階段から上がってください。
- オンライン形式を申し込まれた方には、12月20日以降、参加申込み時に登録したメールアドレス宛てに、zoomへのミーティング登録用のリンクを送信します。



〈問合せ先〉 北海道科学大学高等学校内

北海道高等学校教育相談研究会第50回記念研究大会事務局 事務局長 深澤 昌弘

電話 011-821-0892 E-Mail : kosoken-m@hokkaido-c.ed.jp

※ 電話による問合せは、9:00~17:00の間をお願いします。